

所沢市の 生活支援体制整備事業

発行：所沢市第1層生活支援コーディネーター
所沢市社会福祉協議会受託



No. 3

生活支援コーディネーターは、人と人・人と地域をつないでいます どんなことを行っているかというところ・・・

その1 住民への啓発活動をしています

◆山口地区では、地域福祉研修会「人生100年時代を生きる」を企画し、「助けあい支え合う共生の地域づくり」を「自分ごと」「仲間ごと」として考えていくためのきっかけづくりを行いました。同時に、トコロん元気百歳体操の体験会も実施しました。

あなたがあなたの
住む地域・街・地域の
ために何ができますか？



健康な体づくりも
地域活動には必要！
皆さん、一緒に！

◆所沢での先進的な取り組みを、「さあ、言おう」という全国誌へつなげました。

1つは、松井地区にある「やすまつ交流館」での取り組みです。この交流館は町内会や自治会館に相当するものですが、人が集まり交流する場をつくるために、空き店舗を町内会が購入し誕生しました。毎週木曜日にコミュニティカフェを実施したり、地区を問わずに貸し出ししたりと、様々に活用されています。



もう1つは、所沢地区で行われている「金山食堂だれでもランチ会」です。地域課題である孤独死やひきこもりにアプローチし、地域のつながりを強めたい、という住民の思いから始まりました。毎月40人以上が集まって楽しくランチをしています。



5月はたけのご飯！
旬の食べ物をいただきます

その2 地域の課題を発見しています

柳瀬地区で行われた住民懇談会で、「外出のための足がなくて不便、買い物に行きたい」という意見が寄せられました。そこでその課題を解決すべく、「坂之下買い物支援隊」をモデル的に立ち上げました。



その3 地域活動を住民主体で進めています

吾妻地区では、住民懇談会から世代間交流の場として幼稚園での園児と地域の高齢者が交流する場が生まれました。（荒幡のあったらいいな♪こんな所♪住民懇談会）

地域の役に立つことが、介護予防！
こんな事をしたい！これならできると
出しましょう！

2025年問題って、
団塊の世代が75歳になる
のが問題なのか？



各地区で住民のみなさんとともに話し合う
場を設け、合意形成をはかり、住民主体の
活動の後押しをしています。



幼稚園での園児と高齢者の交流へ。

地域で活用できるヒト・モノ・場所

その4 地域にある社会資源の活用を広げます！

地域で使える場所情報 募集中！

例えば・・高齢者が安心して集える場所★地域でお茶のみが出来る場所

百歳体操で使える場所等（駐車場の有無や飲食可能など詳細
情報も欲しいです！）

連絡先 04-2925-0041